

公益社団法人日本スカッシュ協会平成 27 年度定期社員総会報告

公益社団法人日本スカッシュ協会

平成 27 年 6 月 14 日、公益社団法人日本スカッシュ協会平成 27 年度定期社員総会が大根田電機株式会社会議室にて開催されました。

全国の正社員が出席して以下の議案が検討されましたのでご報告致します。

第 1 号議題 平成 26 年度事業報告並びに財務諸表承認

議長より資料を配布し、事務局より説明を行い、監査報告ののち賛成多数で可決

第 2 号議題 平成 27 年度役員追加承認

議長より平成 27 年度の追加役員案を配布し、事務局より説明を行い議場に諮った所過半数を超える賛成がありこれを承認し、可決した。

<報告事項>

- 1、平成 26 年度アクションプラン活動報告
- 2、(公社)日本スカッシュ協会運営規則の一部(国際委員会)変更報告
- 3、平成 27 年度事業計画並びに予算の報告
- 4、平成 27 年度正会員、顧問、運営委員、大会・委員会担当者報告
- 5、2020 年東京五輪追加競技入りに向けての状況報告と企画事項

※第 1 回 J S A エアー・スカッシュキャラバン in 海老名

※スカッシュ フォー 2020 東京ジャパン～プレトーナメント～ (仮称)

平成 26 年度 事業報告

公益社団法人日本スカッシュ協会

(1) スカッシュ競技の普及に関する事業

① スカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

主管：全国のスポーツクラブ及び地区支部等

日程：<スカッシュデー>平成 27 年 2 月 11 日

<スカッシュウィーク>平成 27 年 2 月 7 日～22 日

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート等

目的：スカッシュの楽しさをより多くの方々に体験して頂きスカッシュの一層の普及を目的とする。

対象：一般の方、どなたでも。

参加：全国 16 ヶ所で 9 歳～81 歳の方まで多数参加

成果：2020 年東京五輪追加競技入りを目指して、全国各地で 2020 回のスカッシュラリーに挑戦して頂き、協会 HP に発表した。

② スポーツ記者スカッシュ体験会の実施

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：平成 27 年 1 月 5 日

会場：スパ白金

成果：日本のトップクラスの選手 9 名によるレッスンと 2020 回ラリーにスポーツ記者の方々が挑戦してスカッシュ体験と交流を図った。

③ 広報活動

イ) 広報機関誌<SQUASH>の発行 (年 2 回を予定)

Vol. 75 (夏の号) 7 月 25 日発行

Vol. 76 (冬の号) 平成 27 年 2 月 20 日発行

ロ) 協会ホームページの運営

ハ) 体育協会記者クラブ等マスコミへのプレスリリース等情報発信

ニ) 記者会見等の開催

※9 月 20 日、アジア競技大会時の JOC レセプションにおいてアジアスカッシュ連盟会長が、オリンピック関係の要人にスカッシュの五輪入りをアピールした。

※国際オリンピック委員会の臨時総会においてオリンピック改革案が採択され、追加競技入りの可能性が出てきた事を受けて、12 月 10 日岸記念体育館にて記者会見を実施。

※1 月 20 日、世界スカッシュ連盟会長が来日、笠原会長と共に文部科学省、JOC、東京組織委員会、東京都知事に東京五輪入りの要望書を提出の上、記者会見を実施。

④ 大会等のスポンサー対策及び増進

⑤ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクトを推進する

(2) スカッシュ競技の競技力の向上に関する事業

① スカッシュの普及と競技力向上に関する事業と「スカッシュ応援募金」活動

目的：世界に通じる選手の育成と指導者の養成を目的とする。

対象：選手強化活動とコーチ養成の活動を対象とする。

内容：

- イ) ナショナル強化プロジェクトチームによるJSA強化指定選手の選考と強化を図った。
- ロ) 全国地区支部や協会の大会等に於ける募金活動

② ナショナルスカッシュ強化練習会及び合宿の開催

イ) 5月度ナショナルトレーニング

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：5月4日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数：1名

ロ) 5月度ナショナルトレーニング

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：5月17日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数：4名

ハ) 6月度ナショナルトレーニング

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：6月8日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数：1名

ニ) 2015年アジアジュニア団体戦選考練習会

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：8月10日

会場：スカッシュマジックアカデミー

参加人数：5名

ホ) 西日本ジュニア強化合宿

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：10月18日・19日

会場：マスカットスタジアム内スカッシュコート

参加人数：12名

ヘ) 9月度ナショナルトレーニング

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：9月28日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数：4名

- ト) 10 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：10 月 26 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：2 名
- チ) 平成 27 年 1 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：1 月 17 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：3 名
- リ) 平成 27 年 3 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：3 月 1 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：3 名
- ヌ) 平成 27 年 3 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：3 月 15 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：3 名
- ル) 平成 26 年度 J S A ジュニアスカウト練習会
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：平成 27 年 3 月 30 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：男子 22 名、女子 7 名、計 29 名
- ヲ) 平成 26 年度 J S A 強化合宿・春
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：平成 27 年 3 月 30 日～4 月 1 日
会場：サンセットブリーズ保田
参加人数：男子 6 名、女子 10 名 計 16 名

③ JSA 公認レベル T (普及トレーナー) 認定講習会と認定試験の開催・公認とワー
クショップの開催

- 主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：平成 26 年 2 月 8 日
会場：コナミスポーツクラブ恵比寿
目的：スカッシュの正しい知識と指導法を体得とさらなる技術向上
対象：スカッシュの初心者レベルでのグループづくり等のサポートが可能な者
参加人数：4 名

④ J S A公認レベルT及びレベルI 保持者対象ワークアウト

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：平成 27 年 3 月 28 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：日本のジュニア選手の現状確認及びスカッシュ指導の為の基本フィードバックの確認とより実践的な応用練習を段階的に行うための実技練習

対象：J S A公認レベルT及びレベル1 保持者

参加人数：6 名

⑤ J S A公認審判講習会と認定試験の開催・支援と公認<2級・3級・4級>

主催：(公社) 日本スカッシュ協会及び全国の地区都道府県支部

日程：年 9 回全国で開催（下表）

目的：レフリー・マーカールの正しい知識を習得し、スカッシュ審判の一層の技術向上を目的とする。

対象：4 級—一般、ジュニア等のスカッシュ経験が浅い者等。

3 級—スカッシュの競技歴が 1 年以上と認められる者等。

2 級—スカッシュの競技歴が 3 年以上と認められる者等。

参加人数：下表を参照

成果：イ) 講習会：正しいルール、レフリー・マーカールのあり方、正しいジャッジ（判断）の進め方、トラブルの対処方法、観客や試合のコントロール方法の学習

ロ) 筆記試験と実技（DVD）：試験の点数により認定の合否を決定

日程	会場	主催・ 主管 支部	受 講 者 数	受 験 者 数	受験結果				備考
					2 級 合格	3 級 合格	4 級 合格	追試	
6 月 14 日	杉並区高井戸地区区民センター	東京	16	18		4		7	
6 月 29 日	広島市佐伯区民文化センター	広島	16	16		4		3	
10 月 5 日	宮城トヨタ自動車本社	東北	52	26		12		9	
1 月 25 日	セントラルウェルネスクラブ札幌	北海道	8	8				3	
5 月 17 日	阿佐ヶ谷地域区民センター	東京	29	21		4		9	
10 月 26 日	ルネサンス天王町	神奈川	11	4	1			1	
2 月 11 日	西宮大学交流センター	関西	23	18		4		6	
2 月 21 日	宇都宮市文化会館	四国	18	12	1	4		4	
3 月 15 日	西宮大学交流センター	関西	27	22	1	2		11	
		計	200	145	3	34		53	

(3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業

① 協会主催の競技大会 ※日程、会場等は予定

イ) 第9回東アジアスカッシュ選手権大会 2014 in Tokyo

<平成26年度スポーツ振興基金助成>

日程：5月29日～6月1日

会場：スパ白金

目的：東アジア6カ国（香港、中国、台湾、韓国、マカオ、日本）の国際交流と技術向上

対象：東アジア6カ国のトップ選手

参加人数：36名

内容：男子3名、女子3名の男女別団体戦

結果：男子 1、ホンコン・チャイナ 2、日本 3、大韓民国
4、チャイニーズ・タイペイ 5、マカオ・チャイナ
女子 1、ホンコン・チャイナ 2、日本 3、チャイナ
4、大韓民国 5、チャイニーズ・タイペイ

ロ) 第25回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会

日程：6月7日・8日

会場：さいたまスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：日本のトッププレイヤーを目指す若いプレイヤーの育成強化を目的とする。

対象：23歳未満の男女

参加人数：85名

内容：トーナメント制

結果：男子 優勝 林 尚輝（専修大学） 準優勝 増田 成吾（関東支部）
女子 優勝 高橋 ナナミ（セントラル稲毛海岸）
準優勝 吉原 成実（順天堂大学）

ハ) 第28回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会

<ワールドジュニアサーキット(WSF)>

<アジアジュニアスーパーシリーズ(ASF)>

日程：8月7日～9日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：海外のジュニア選手の参加により、日本の選手との交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9の選手

参加人数：約170名

内容：トーナメント制

結果：男子 アンダー19 優勝 Ka Yin NG (HONG KONG)
準優勝 林 尚輝 (専修大学)
女子 アンダー19 優勝 Rou-Yi. Sara CHEW (MALAYSIA)
準優勝 Min-Gyeong HEO (KOREA)

ニ) 第 20 回マスターズカーニバル

日程：10 月 11 日・12 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：マスターズの年代のスカッシュ愛好家による親睦を図り、スカッシュの試合を通じた楽しい仲間作りを目的とする。

対象：男女オーバー30、40、50、60（初心者～ベテラン）

参加人数：137 名+25 組

内容：トーナメント及びリーグ制

ホ) 文部科学大臣杯争奪第 43 回全日本スカッシュ選手権大会

日程：11 月 21 日～24 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：全国で開催された公認大会において上位の成績を収めた選手達により、日本チャンピオンの座を競う国内最高峰の大会。日本全国のトップ選手の交流と一層の技術向上を目的とする。

対象：全国の公認大会における上位入賞者で、日本国籍を有する者、及び男女マスターズ

参加人数：219 名

内容：トーナメント制

結果：男子 優勝 机龍之介（iBEX スポーツ）史上最年少優勝
準優勝 福井裕太（フリー）

女子 優勝 小林海咲（メッドサポートシステムズ）史上初 6 連覇
準優勝 松井千夏（SQ-CUBE PRO）

視聴者数：143,086 人

ヘ) JOC ジュニアオリンピックカップ第 19 回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会

日程：平成 27 年 3 月 27 日～29 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：日本のジュニア選手で年代別ジュニアチャンピオンを競う大会であり、交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9 の選手で、日本国籍を有する者

参加人数：136 名

内容：トーナメント制

結果：男子 アンダー19 優勝 机 龍之介（iBEX スポーツ）
準優勝 尾湯 祐亮（PassionBB）

女子 アンダー19 優勝 渡邊 聡美（SALMING）
準優勝 酒井 真美（スプラッシュ）

② 海外大会日本代表派遣

イ) 第 17 回アジアスカッシュ団体選手権大会

日程：6 月 11 日～15 日

開催地：香港

種目：団体戦

参加選手：男子/ 福井裕太、机伸之介、小林僚生、机龍之介
女子/ 小林海咲、松井千夏、杉本梨沙、渡邊聡美
監督：潮木 仁 コーチ：佐野公彦 トレーナー：菊池加奈子
結果：男子：16カ国中6位 女子10カ国中3位<銅メダル>

ロ) 香港ジュニアオープン 2014

日程：7月29日～8月2日

開催地：香港

種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9

参加選手：男子/U17/机龍之介、大段凜太郎、尾瀨祐亮、園部大和、村山知嶺
U15/松本航太、園部龍昇、鈴木拓道、尾瀨祥汰
U13/安成翔太、安藤優太

女子/U17 渡邊聡美、中平百香 U13/渡邊安佑未

主な結果：男子/U17 準優勝 机龍之介 プレート優勝 尾瀨祐亮
女子/U17 3位 渡邊聡美 8位 渡邊安佑未

ハ) アジア競技大会 (JOC派遣)

日程：9月20日～27日 (大会は9月19日～10月4日)

開催地：韓国・仁川

種目：男子・女子 各団体戦及び個人戦

参加選手：男子/机伸之介、福井裕太、清水孝典
女子/小林海咲、松井千夏、渡邊聡美

監督：潮木仁 コーチ：佐野公彦

結果：個人戦：小林海咲 5位タイ

団体戦：男子10カ国中5位タイ、女子 7カ国中5位タイ

海外派遣承認大会

イ) REDtone 8th KL Junior Open Squash Championships 2014

日程：2014年12月2日～7日

結果：BU9 (39人中) 篠宮 尊 18位

橋口 栄志郎 25位

BU11 (77人中) 徳原 優輝 59位

BU17 (87人中) 園部 大和 30位

GU13 (44人中) 岸本 芽衣 30位

渡邊 安佑未 14位

高橋 楽歩 30位

GU17 (29人中) 渡邊 聡美 優勝

ロ) Old Chang Kee Singapore Squash Open 2014

日程：2014年12月17日～21日

結果：GU13 (26人参加) 高橋 楽歩 参加

ハ) 2014 U.S. Junior Open Squash Championships

日程：2014年12月20日～23日

結果： BU 17 (128 人中) 机 龍之介 9 位
園部 大和 33~49 位
BU19 (128 人中) 尾瀨 祐亮 50~96 位
GU13 (57 人中) 渡邊 安佑未 16 位
GU17 (107 人中) 渡邊 聡美 優勝

二) 2015 Tecnifibre British Junior Open

日程：2015 年 1 月 2 日～6 日

結果：GU13 (40 人中) 渡邊 安佑未 25 位
GU17 (41 人中) 渡邊 聡美 9 位

③ 国際大会の日本開催に向けての資金及び情報の収集

目的：ジャパンオープンや東アジアスカッシュ選手権大会等、海外選手と対戦する機会を作る事により日本選手の技術の向上を図る。又、国際大会を開催する事により間近で海外トップ選手のプレイを観戦する機会を作り、より多くの人々にスカッシュへの関心を高めてもらい一層の普及を図る。

成果：2020 年東京オリンピック競技入りアピールを含めて、第 9 回東アジアスカッシュ選手権大会の日本開催をスパ白金にて実施した。

(4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

① アジア競技大会に向けてのロビー活動及び選手強化活動

目的：2014 年のアジア競技大会では、残念ながらメダル獲得が出来なかったが、2018 年のメダル獲得に向けて選手強化を一層充実させた。

対象：男女ナショナルチーム

種目：男女シングル戦、団体戦

成果：メダル獲得が出来なかった点を分析し、選手強化の為に合宿を集中して行う。

② オリンピック競技大会での正式競技入り実現の為に推進活動

目的：スカッシュの普及発展の為に、WSF（世界スカッシュ連盟）との連携により、IOC（国際オリンピック委員会）並びに JOC（日本オリンピック委員会）や東京五輪組織委員会に向けて 2020 年オリンピック追加競技入り要請運動を展開した。

成果：アジア競技大会の JOC レセプションにて ASF と連携して IOC, JOC、東京五輪組織委員会等の要人にスカッシュのオリンピック競技入りをアピールした。

WSF との連携により、文部科学省、JOC、東京五輪組織委員会、東京都に 2020 年東京オリンピック追加競技入りの要望書を提出した。

③ ドーピング検査及びドーピング防止啓蒙活動

<平成 26 年スポーツ振興くじ助成>

目的：(公財) 日本ドーピング機構に加盟して、競技会検査及びドーピング防止の為に啓蒙活動を積極的に行う。

内容：第 43 回全日本スカッシュ選手権大会にてドーピング検査を実施。

協会機関誌にてドーピング防止の広告を掲載して啓蒙活動を行った。

④ 会員募集事業と公認事業制度の運用

内容：*個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は（株）アプロード運用の「スポーツエントリー」を利用して利便性を図った。但し、平成23年度より大会参加に関しての「スポーツエントリー」の利用は、主催者の判断に委ねている。

*世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行いスカッシュ競技の安全性や統一を図った。

*公認大会の運用（要項、ドロー、結果の確認及び公認）やランキング等の発表を行い、公認大会の全国統一とレベルアップを図った。

平成26年度より、試験的にジュニアランキングも施行した。

⑤ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、男女国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整

目的：海外対策委員会を中心に海外の情報収集及び国内情報の発信及び海外との協力体制で積極的な活動を行った。

内容：東アジアスカッシュ連盟総会及びアジアスカッシュ連盟総会に出席。
WSF会長来日

⑥ 全日本学生連盟との連携、強化

内容：4年前より学生連盟の所属選手も個人登録とし、協会機関誌を個別に発送する事により情報を一層密に伝達した。又、大会等における協力体制を強化した。全日本学連との会議の場を持って前向きな話し合いをした。

⑦ 「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」建設に向けた資金及び情報の収集

目的：スカッシュ人口増大の為には、協会保有のスカッシュコートを建設しての普及活動が不可欠。又、集中的な選手強化の為にもスカッシュコートを含むトレーニングセンターの建設が必要。国や自治体の協力を得て「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」の建設を目指し、資金と情報の収集に努力する。

計画：新国立競技場は規模縮小の為大変難しい状況ではあるが、他施設へのスカッシュコート設置を働きかける努力をした。

⑧ 公益法人としての活動の強化

目的：公益社団法人としての適正な活動を行い、スカッシュの一層の普及振興に努力した。

平成 26 年度会員数&公認数

<個人会員>

() は前年

会員種別	人数
正会員	35 名(36 名)
プロ選手会員	39 名 (43 名)
個人選手会員	653 名(669 名)
ジュニア会員	194 名(195 名)
一般会員	140 名(122 名)
個人後援会員	3 名(2 名)
単発会員	64 名(58 名)
学連会員	831 名(659 名)

個人会員総計名 1,959 名(1,784 名)

<団体会員>

() は前年

会員種別	団体数
団体会員	102(103)
準団体会員	27(30)
クラブチーム会員	13(15)

<個人会員と一般会員の支部別内訳> () は前年

支部名	個人選手会員	一般会員
北海道	45 (44)	10(11)
東北	61 (60)	17 (22)
関東	350 (345)	64 (53)
中部	36 (33)	6 (7)
関西	90(105)	19(15)
中国四国	43 (42)	16(9)
九州	28 (32)	8 (5)

<平成 26 年度公認件数>

コート公認数	1 件
大会公認数(協会主催大会を除く)	63 大会 (オープン 43 U23 1、 マスターズ 1、地区支部クローズ 6、 県支部クローズ 6、学連 6)
ボール公認数	1 件
コーチ公認更新数	30 件
レフリー公認更新数	64 件

(2015.3.31.)

貸借対照表

平成27年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,445,867	559,030	15,886,837
棚卸資産	494,813	511,365	△ 16,552
前払金	12,420	251,121	△ 238,701
未収金	1,591,965	1,452,397	139,568
流動資産合計	18,545,065	2,773,913	15,771,152
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	33,444,694	50,454,837	△ 17,010,143
基本財産合計	33,444,694	50,454,837	△ 17,010,143
(2) 特定資産			
公益事業基金(大会開催)引当預金	6,100,000	5,900,000	200,000
トレセン建設引当預金	4,400,000	4,300,000	100,000
特定資産合計	10,500,000	10,200,000	300,000
(3) その他固定資産			
保証金	200,000	200,000	0
その他固定資産合計	200,000	200,000	0
固定資産合計	44,144,694	60,854,837	△ 16,710,143
資産合計	62,689,759	63,628,750	△ 938,991
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,032,579	1,237,918	△ 205,339
前受金	3,448,200	3,723,025	△ 274,825
流動負債合計	4,480,779	4,960,943	△ 480,164
負債合計	4,480,779	4,960,943	△ 480,164
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(33,444,694)	(50,454,837)	(△ 17,010,143)
(うち特定資産への充当額)	(10,500,000)	(10,200,000)	(300,000)
正味財産合計	58,208,980	58,667,807	△ 458,827
負債及び正味財産合計	62,689,759	63,628,750	△ 938,991

正味財産増減計算書

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,223]	[12,674]	[△ 1,451]
基本財産受取利息	11,223	12,674	△ 1,451
受取会費	[13,133,267]	[13,265,392]	[△ 132,125]
正会員受取会費	378,000	378,000	0
賛助会員個人受取会費	7,392,917	7,101,292	291,625
賛助会員団体受取会費	2,730,900	2,910,000	△ 179,100
加盟料	590,000	640,000	△ 50,000
公認料	2,041,450	2,236,100	△ 194,650
事業収益	[23,983,990]	[17,556,458]	[6,427,532]
参加費	7,507,941	8,170,426	△ 662,485
広告費	8,625,736	3,194,000	5,431,736
その他	5,393,542	2,716,017	2,677,525
委託補助金収入	2,286,000	3,222,000	△ 936,000
雑収入	170,771	254,015	△ 83,244
受取補助金等	[5,183,000]	[4,323,000]	[860,000]
民間補助金収入	1,654,000	1,153,000	501,000
国庫等助成金	3,529,000	3,170,000	359,000
受取寄付金	[1,403,610]	[142,095]	[1,261,515]
受取寄付金	1,300,000	0	1,300,000
募金収益	103,610	142,095	△ 38,485
雑収入	[2,532]	[256,922]	[△ 254,390]
受取利息	2,361	6,846	△ 4,485
その他	171	250,076	△ 249,905
経常収益計	43,717,622	35,556,541	8,161,081
(2) 経常費用			
事業費	[30,659,552]	[28,392,417]	[2,267,135]
コピー	1,373,500	1,359,850	13,650
パソコン	3,138,980	2,384,105	754,875
参加賞	439,560	1,376,122	△ 936,562
トロフィー	433,991	426,939	7,052
保険	84,640	222,900	△ 138,260
交通	606,965	1,213,190	△ 606,225
宿泊	4,581,336	2,184,271	2,397,065
郵便	428,748	654,972	△ 226,224
雑費	2,225,121	1,554,331	670,790
渡航	1,694,055	6,080,444	△ 4,386,389
国外滞在	356,341	403,890	△ 47,549
国内旅	348,188	110,150	238,038
謝金	2,157,369	2,645,974	△ 488,605
借損	1,860,324	623,810	1,236,514
消耗品	276,039	140,086	135,953
通信	446,886	61,901	384,985
雑役	6,745,302	3,560,716	3,184,586
対象	2,768,820	1,613,336	1,155,484
その他	48,468	247,744	△ 199,276
給付	613,500	824,000	△ 210,500
雑支	31,419	703,686	△ 672,267
管費	[13,516,897]	[11,679,639]	[1,837,258]
給与	7,579,489	6,199,700	1,379,789

科 目	当年度	前年度	増 減
旅 費 交 通 費	517,316	361,510	155,806
通 信 ・ 運 搬 費	331,802	286,436	45,366
会 議 費	41,356	30,100	11,256
消 耗 什 器 備 品 費	407,526	359,880	47,646
印 刷 製 本 費	112,002	200,045	△ 88,043
光 熱 水 料 費	242,433	226,999	15,434
賃 借 料 費	1,465,500	1,320,000	145,500
社 会 保 險 料	1,337,464	1,477,198	△ 139,734
負 担 金 支 出	487,651	443,292	44,359
公 認 会 計 士 他 費 用	150,000	150,000	0
公 益 法 人 関 連 費 用	277,541	253,568	23,973
登 記 費 用	53,820	32,940	20,880
雑 費	512,997	337,971	175,026
經常費用計	44,176,449	40,072,056	4,104,393
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 458,827	△ 4,515,515	4,056,688
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 458,827	△ 4,515,515	4,056,688
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 458,827	△ 4,515,515	4,056,688
一般正味財産期首残高	58,667,807	63,183,322	△ 4,515,515
一般正味財産期末残高	58,208,980	58,667,807	△ 458,827
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	58,208,980	58,667,807	△ 458,827

正味財産増減計算書内訳表
平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位：円)

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[0]	[0]	[11,223]	[11,223]
基本財産受取利息	0	0	11,223	11,223
受取会費	[6,566,634]	[0]	[6,566,633]	[13,133,267]
正会員受取会費	189,000	0	189,000	378,000
賛助会員個人受取会費	3,696,459	0	3,696,458	7,392,917
賛助会員団体受取会費	1,365,450	0	1,365,450	2,730,900
加盟金	295,000	0	295,000	590,000
公認料	1,020,725	0	1,020,725	2,041,450
事業収益	[23,983,990]	[0]	[0]	[23,983,990]
参加費	7,507,941	0	0	7,507,941
広告費	8,625,736	0	0	8,625,736
その他	5,393,542	0	0	5,393,542
委託補助金収入	2,286,000	0	0	2,286,000
雑収入	170,771	0	0	170,771
受取補助金等	[5,183,000]	[0]	[0]	[5,183,000]
民間補助金収入	1,654,000	0	0	1,654,000
国庫等補助金	3,529,000	0	0	3,529,000
受取寄付金	[1,403,610]	[0]	[0]	[1,403,610]
受取寄付金	1,300,000	0	0	1,300,000
募金収益	103,610	0	0	103,610
雑収益	[0]	[0]	[2,532]	[2,532]
受取利息	0	0	2,361	2,361
その他	0	0	171	171
経常収益計	37,137,234	0	6,580,388	43,717,622
(2) 経常費用				
事業費	[30,659,552]	[0]	[0]	[30,659,552]
コピー	1,373,500	0	0	1,373,500
パンフレット	3,138,980	0	0	3,138,980
参加賞	439,560	0	0	439,560
トロフィー・メダル	433,991	0	0	433,991
保険代	84,640	0	0	84,640
交通費	606,965	0	0	606,965
宿泊費	4,581,336	0	0	4,581,336
郵便費	428,748	0	0	428,748
雑費	2,225,121	0	0	2,225,121
渡航費	1,694,055	0	0	1,694,055
国外滞在費	356,341	0	0	356,341
国内旅費	348,188	0	0	348,188
国謝金	2,157,369	0	0	2,157,369
借損料	1,860,324	0	0	1,860,324
消耗品費	276,039	0	0	276,039
通信運搬費	446,886	0	0	446,886
雑役務費	6,745,302	0	0	6,745,302
対象外経費	2,768,820	0	0	2,768,820
その他	48,468	0	0	48,468
給付金支出	613,500	0	0	613,500
雑支出	31,419	0	0	31,419
管理費	[9,615,508]	[0]	[3,901,389]	[13,516,897]
給与	6,063,592	0	1,515,897	7,579,489
旅費	413,853	0	103,463	517,316
通信運搬費	265,443	0	66,359	331,802
会議費	20,678	0	20,678	41,356
消耗什器備品費	326,021	0	81,505	407,526
印刷製本費	89,602	0	22,400	112,002
光熱水料費	193,947	0	48,486	242,433
賃借料	1,172,400	0	293,100	1,465,500
社保料	1,069,972	0	267,492	1,337,464
負担金支出	0	0	487,651	487,651
公認会計士他費用	0	0	150,000	150,000

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
公益法人関連費用	0	0	277,541	277,541
登記費用	0	0	53,820	53,820
雑費	0	0	512,997	512,997
経常費用計	40,275,060	0	3,901,389	44,176,449
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,137,826	0	2,678,999	△ 458,827
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,137,826	0	2,678,999	△ 458,827
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,137,826	0	2,678,999	△ 458,827
一般正味財産期首残高	0	0	58,667,807	58,667,807
一般正味財産期末残高	△ 3,137,826	0	61,346,806	58,208,980
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 3,137,826	0	61,346,806	58,208,980

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」の「2.基本財産及び特定資産の増減額及び残高」に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	-	-	-	-	-

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
委託金						
選手強化NF事業補助金	日本オリンピック委員会	0	2,286,000	2,286,000	0	—
小計		0	2,286,000	2,286,000	0	
補助金						
選手強化交付金	日本オリンピック委員会	0	1,654,000	1,654,000	0	—
小計		0	1,654,000	1,654,000	0	
助成金						
スポーツ振興基金助成金	日本スポーツ振興センター	0	2,784,000	2,784,000	0	—
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	745,000	745,000	0	—
小計		0	3,529,000	3,529,000	0	
合計		0	7,469,000	7,469,000	0	

財産目録

平成27年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	48,398	
		普通預金		6,958,069	
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	運転資金として	4,069,465	
		三菱東京UFJ銀行 神田駅前支店	運転資金として	1,972	
		三井住友銀行 神田支店	運転資金として	302,267	
		みずほ銀行 神田支店	運転資金として	6,149	
		りそな銀行 神田支店	運転資金として	90,971	
		シティーバンク 大手町支店	運転資金として	1,849,588	
		シティーバンク 大手町支店	運転資金として (外貨)	512,544	
		朝日信用金庫 湯島支店	運転資金として	78,505	
		ゆうちょ銀行 神田局	運転資金として	46,608	
		定期預金		9,439,400	
		三菱東京UFJ銀行 神田駅前支店	運転資金として	102,780	
		三井住友銀行 神田支店	運転資金として	9,109,081	
		みずほ銀行 神田支店	運転資金として	102,780	
		りそな銀行 神田支店	運転資金として	96,817	
		シティーバンク 大手町支店	運転資金として	21,395	
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	運転資金として	6,547	
		棚卸資産	手元保管	公益目的事業分 (本・ビデオ) 及び 法人会計分 (切手) として	494,813
		前払金			12,420
		翌年度事業分	参加費等	公益目的事業分として	12,420
		未収金			1,591,965
		その他	JOC補助金・会費等	公益目的事業分として	1,591,965
流動資産合計			18,545,065		
(固定資産) 基本財産	定期預金		33,444,694		
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	5,102,860	
		三菱UFJ銀行 神田駅前支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	9,006,301	
		みずほ銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	9,006,301	
		りそな銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	8,309,208	
		定期預金合計		33,444,694	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
特定資産	公益事業基金（大会開催）引当預金	シティーバンク 大手町支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	2,020,024	
			公益事業基金（大会開催）引当預金合計	6,100,000	
		朝日信用金庫 湯島支店	特定費用準備資金として	△ 1,750,000	
		ゆうちょ銀行 神田局	特定費用準備資金として	1,100,000	
		りそな銀行 神田支店	特定費用準備資金として	50,000	
		みずほ銀行 神田支店	特定費用準備資金として	1,350,000	
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	特定費用準備資金として	5,350,000	
		トレセン建設 引当預金	トレセン建設引当預金合計	4,400,000	
			三菱東京UFJ銀行 神田支店	公益目的事業分として	2,600,000
			朝日信用金庫 湯島支店	公益目的事業分として	1,800,000
その他固定資産	保証金	事務所保証金	公益目的保有財産として(20%) 公益目的事業の不可欠特定財産として(80%)	200,000	
固定資産合計				44,144,694	
資産合計				62,689,759	
(流動負債)	未払金	3月分給料 その他	法人会計・管理費分として	未払金合計	1,032,579
			法人会計・管理費分として		738,939
	前受金	次年度会費		前受金合計	293,640
			公益目的事業分として		3,448,200
	流動負債合計				3,448,200
負債合計				4,480,779	
正味財産				58,208,980	

収支計算書

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[20,000]	[11,223]	[8,777]
基本財産利息収入	20,000	11,223	8,777
会費収入	[14,380,450]	[13,133,267]	[1,247,183]
正会員会費収入	442,800	378,000	64,800
賛助会員個人会費	7,772,650	7,392,917	379,733
賛助会員団体会費	3,390,000	2,730,900	659,100
加盟金料	640,000	590,000	50,000
公認料	2,135,000	2,041,450	93,550
事業収入	[20,311,920]	[23,983,990]	[△ 3,672,070]
参加費	6,701,920	7,507,941	△ 806,021
広告費	5,310,000	8,625,736	△ 3,315,736
その他の	3,000,000	5,393,542	△ 2,393,542
委託補助金収入	4,500,000	2,286,000	2,214,000
雑収入	800,000	170,771	629,229
補助金等収入	[13,480,000]	[5,183,000]	[8,297,000]
民間補助金収入	2,700,000	1,654,000	1,046,000
国庫等助成金	10,780,000	3,529,000	7,251,000
寄付金収入	[2,472,000]	[1,403,610]	[1,068,390]
寄付金収入	0	1,300,000	△ 1,300,000
募金収入	2,472,000	103,610	2,368,390
雑収入	[5,506]	[2,532]	[2,974]
受取利息	5,506	2,361	3,145
その他	0	171	△ 171
事業活動収入計	50,669,876	43,717,622	6,952,254
2. 事業活動支出			
事業費	[35,932,876]	[30,645,020]	[5,287,856]
コピープリント	1,766,600	1,373,500	393,100
パソコンフレット	4,186,165	3,138,980	1,047,185
参加賞	873,750	439,560	434,190
トロフィー・メダル	458,331	433,991	24,340
保険代	63,800	84,640	△ 20,840
交通費	1,835,958	606,965	1,228,993
宿泊費	985,522	4,581,336	△ 3,595,814
郵送費	142,375	435,680	△ 293,305
雑費	956,543	2,225,121	△ 1,268,578
渡航費	2,902,420	1,694,055	1,208,365
国外滞在費	6,352,000	356,341	5,995,659
国内旅費	27,500	348,188	△ 320,688
謝礼金	3,397,440	2,157,369	1,240,071
借損料	1,939,040	1,860,324	78,716
消耗品費	1,236,616	276,039	960,577
通信運搬費	0	446,886	△ 446,886
雑役務費	5,206,256	6,745,302	△ 1,539,046
対象外経費	270,000	2,768,820	△ 2,498,820
その他	1,332,560	48,468	1,284,092
給付金支出	1,000,000	613,500	386,500
雑支出	1,000,000	9,955	990,045
管理費	[14,437,000]	[13,514,877]	[922,123]
給旅費	8,400,000	7,579,489	820,511
交通費	500,000	517,316	△ 17,316

科 目	予算額	決算額	差 異
通 信 ・ 運 搬 費	662,000	329,782	332,218
会 議 費	50,000	41,356	8,644
消 耗 什 器 備 品 費	680,000	407,526	272,474
印 刷 製 本 費	100,000	112,002	△ 12,002
光 熱 水 料 費	220,000	242,433	△ 22,433
賃 借 料	1,320,000	1,465,500	△ 145,500
社 会 保 険 料	1,000,000	1,337,464	△ 337,464
負 担 金 支 出	455,000	487,651	△ 32,651
公 認 会 計 士 他 費 用	200,000	150,000	50,000
公 益 法 人 関 連 費 用	350,000	277,541	72,459
登 記 費 用	200,000	53,820	146,180
雑 費	300,000	512,997	△ 212,997
事業活動支出計	50,369,876	44,159,897	6,209,979
事業活動収支差額	300,000	△ 442,275	742,275
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	[0]	[17,010,143]	[△ 17,010,143]
投資活動収入計	0	17,010,143	△ 17,010,143
2. 投資活動支出			
特定預金支出	[300,000]	[300,000]	[0]
大会開催引当預金支出	200,000	200,000	0
トレセン建設引当預金支出	100,000	100,000	0
投資活動支出計	300,000	300,000	0
投資活動収支差額	△ 300,000	16,710,143	△ 17,010,143
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	0	16,267,868	△ 16,267,868
前期繰越収支差額	0	△ 2,698,395	2,698,395
次期繰越収支差額	0	13,569,473	△ 13,569,473

収支計算書内訳表

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位：円)

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[0]	[0]	[11,223]	[11,223]
基本財産利息収入	0	0	11,223	11,223
会費収入	[6,566,634]	[0]	[6,566,633]	[13,133,267]
正会員会費収入	189,000	0	189,000	378,000
賛助会員個人会費	3,696,459	0	3,696,458	7,392,917
賛助会員団体会費	1,365,450	0	1,365,450	2,730,900
加盟金	295,000	0	295,000	590,000
公認料	1,020,725	0	1,020,725	2,041,450
事業収入	[23,983,990]	[0]	[0]	[23,983,990]
参加費	7,507,941	0	0	7,507,941
広告費	8,625,736	0	0	8,625,736
その他	5,393,542	0	0	5,393,542
委託補助金収入	2,286,000	0	0	2,286,000
雑収入	170,771	0	0	170,771
補助金等収入	[5,183,000]	[0]	[0]	[5,183,000]
民間補助金収入	1,654,000	0	0	1,654,000
国庫等助成金	3,529,000	0	0	3,529,000
寄付金収入	[1,403,610]	[0]	[0]	[1,403,610]
寄付金収入	1,300,000	0	0	1,300,000
募金収入	103,610	0	0	103,610
雑収入	[0]	[0]	[2,532]	[2,532]
受取利息	0	0	2,361	2,361
その他	0	0	171	171
事業活動収入計	37,137,234	0	6,580,388	43,717,622
2. 事業活動支出				
事業費	[30,645,020]	[0]	[0]	[30,645,020]
コート	1,373,500	0	0	1,373,500
パンフレット	3,138,980	0	0	3,138,980
参加賞	439,560	0	0	439,560
トロフィー・メダル	433,991	0	0	433,991
保険代	84,640	0	0	84,640
交通費	606,965	0	0	606,965
宿泊費	4,581,336	0	0	4,581,336
郵送費	435,680	0	0	435,680
雑費	2,225,121	0	0	2,225,121
渡航費	1,694,055	0	0	1,694,055
国外滞在費	356,341	0	0	356,341
国内旅費	348,188	0	0	348,188
謝礼金	2,157,369	0	0	2,157,369
借入金料	1,860,324	0	0	1,860,324
消耗品費	276,039	0	0	276,039
通信運搬費	446,886	0	0	446,886
雑役務費	6,745,302	0	0	6,745,302
対象外経費	2,768,820	0	0	2,768,820
その他	48,468	0	0	48,468
給付金支出	613,500	0	0	613,500
雑支出	9,955	0	0	9,955
管理費	[9,615,508]	[0]	[3,899,369]	[13,514,877]
給与	6,063,592	0	1,515,897	7,579,489
旅費	413,853	0	103,463	517,316
通信運搬費	265,443	0	64,339	329,782
会議費	20,678	0	20,678	41,356
消耗什器備品費	326,021	0	81,505	407,526
印刷製本費	89,602	0	22,400	112,002
光熱水料費	193,947	0	48,486	242,433
賃貸借料	1,172,400	0	293,100	1,465,500
社会保険料	1,069,972	0	267,492	1,337,464
負担金支出	0	0	487,651	487,651
公認会計士他費用	0	0	150,000	150,000
公益法人関連費	0	0	277,541	277,541

科 目	合 計			
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
登 記 費 用	0	0	53,820	53,820
雑 費	0	0	512,997	512,997
事業活動支出計	40,260,528	0	3,899,369	44,159,897
事業活動収支差額	△ 3,123,294	0	2,681,019	△ 442,275
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
基本財産取崩収入	[0]	[0]	[17,010,143]	[17,010,143]
投資活動収入計	0	0	17,010,143	17,010,143
2. 投資活動支出				
特定預金支出	[300,000]	[0]	[0]	[300,000]
大会開催引当預金支出	200,000	0	0	200,000
トレセン建設引当預金支出	100,000	0	0	100,000
投資活動支出計	300,000	0	0	300,000
投資活動収支差額	△ 300,000	0	17,010,143	16,710,143
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	△ 3,423,294	0	19,691,162	16,267,868
前期繰越収支差額	0	0	△ 2,698,395	△ 2,698,395
次期繰越収支差額	△ 3,423,294	0	16,992,767	13,569,473

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲 ----- 現金預金、未収金、未払金、前払金、前受金、仮払金、仮受金、預り金
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	559,030	16,445,867
前払金	251,121	12,420
未収金	1,452,397	1,591,965
合 計(1)	2,262,548	18,050,252
未払金	1,237,918	1,032,579
前受金	3,723,025	3,448,200
合 計(2)	4,960,943	4,480,779
次期繰越収支差額(1) - (2)	△ 2,698,395	13,569,473

独立監査人の監査報告書

平成27年5月21日

公益社団法人日本スカッシュ協会
会長 笠原 一也 殿

十川公認会計士事務所
公認会計士

十川 稔 

<財務諸表監査>

私は、貴社団法人の委嘱に基づき、公益社団法人日本スカッシュ協会の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これは、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、貴社団法人の委嘱に基づき、公益社団法人日本スカッシュ協会の平成27年3月31日現在の平成26年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「使用目的等」及び「金額」の欄に限る）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益社団法人日本スカッシュ協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

平成 27 年 5 月 21 日

公益社団法人日本スカッシュ協会
会長 笠原 一也 殿

公益社団法人 日本スカッシュ協会

監事 友清 敏和 

監事 山岸 和彦 

私たち監事は、公益社団法人日本スカッシュ協会の平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その結果を次のとおり報告いたします。

1. 監査方法及びその内容

- (1) 理事の職務並びに事業報告及びその附属明細書の監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧その他必要と思われる監査手続きを実施して、理事の職務の遂行並びに事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討しました。
- (2) 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録の監査については、独立監査人から監査実施状況及び結果について報告を受け、財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書に関する監査結果
事業報告及び附属明細書は、法令又は定款に従い当法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関する監査結果
当法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録に関する監査結果
財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。また、独立監査人の監査方法及び結果は、相当であると認めます。

以上

平成 26 年度スカッシュ応援募金活動等報告

公益社団法人日本スカッシュ協会 選手強化委員会

公益社団法人日本スカッシュ協会のアクションプラン活動等にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、平成 26 年度の主な関連活動内容をご報告致します。

平成 26 年度からは新たに「スカッシュ応援募金」としてスタート致しました。将来のオリンピック競技入りを見据えた選手の育成強化やスカッシュの普及事業に活用させて頂きました。今後共より一層のご支援ご協力を賜りますように切にお願い申し上げます。

項目	収入		支出	備考
	(寄付補助金)	(参加費等)		
スカッシュ応援募金	59,110	0	0	
JOC強化交付金	1,454,000	0	0	
JOC委託事業 ※表 1	2,286,000	1,681,640	5,000,110	アジア団体・香港ジュニア・アジアジュニア団体・強化合宿
選手強化委員会(シニア)	0	0	1,342,772	NTトレーニング・アジア競技大会・東アジア・他
選手強化委員会(ジュニア)	0	797,563	1,063,260	ジュニアスカウト・西日本合宿・海外ジュニア・他
計	3,799,110	2,479,203	7,406,142	
総計		総収入	総支出	差引差額
		6,278,313	7,406,142	△1,127,829

* 委託事業対象外経費一部含む

＊ 表1 JOC委託事業

(対象経費の2/3がJOC補助、残1/3と対象外経費その他がJSA負担。但しJOC補助金上限あり)

支出

項目	渡航費	滞在費	交通費	謝金	借損料	通信費	保険代・雑役務	対象外*	計
アジア選手権団体	1,005,700	65,795	43,860	150,000	0	0	32,890 384,608	68,415	1,751,268
香港ジュニア	186,600	0	20,110	77,000	0	0	25,170 347,327	1,445,867	2,102,074
アジアジュニア団体	342,800	290,604	16,250	42,000	0	0	17,380 14,520	29,932	753,486
強化合宿	0	226,450	1,000	59,000	100,680	0	0 0	6,152	393,282
計	1,535,100	582,849	81,220	328,000	100,680	0	821,895	1,550,366	5,000,110

<内、JOC委託金 2,286,000円>

◆ その他、選手強化委員会海外遠征等 (JSA負担)

項目	収入	支出
ナショナルトレーニング	0	105,432
アジア競技大会	0	515,050
東アジア選手権	0	375,960
選手強化(シニア)	0	332,330
ジュニアスカウト	66,000	43,200
西日本合宿	0	74,899
海外ジュニア大会	731,563	805,831
選手強化(ジュニア)	0	139,330
計	797,563	2,392,032

公益社団法人日本スカッシュ協会 運営規則

第1章 総 則

(目的)

第1条 この運営規則は、公益社団法人日本スカッシュ協会定款に基づき、この法人(以下「本協会」という。)の組織、運営に関する細則を定めることを目的とする。

第2章 会 員

(加入基準)

第2条 会員は、本協会の目的に賛同して入会し、又は本協会の事業を援助する個人又は法人その他の団体とする。

(会員種別)

第3条 定款第5条に基づく会員種別の内容は次のとおりとする。

- ① 正会員は、都道府県におけるスカッシュ競技を統括する団体の代表者及び理事会において選任され総会で承認を受けた者により構成される。
- ② 賛助会員は、団体会員、準団体会員、クラブチーム会員、プロ選手会員、個人選手会員、ジュニア会員、学連会員、一般会員、後援会員、単発会員、普及協力会員により構成される。

(会員会費納入)

第4条 会員は、次に定める会員会費を納入する。

- ① 正会員は、次に定める負担金を納入する。

年額 10,800 円

- ② 賛助会員は、次に定める会員会費を納入する。

団体会員 入会金 54,000 円、年会費(1口)54,000 円

準団体会員 年会費(1口) 21,600 円

クラブチーム会員 年会費(1口) 21,600 円

プロ選手会員 年会費 15,000 円

(プロ選手/海外国籍) 年会費 8,000 円

個人選手会員 年会費 8,000 円

ジュニア会員 年会費 4,000 円

(ジュニア/小学生) 年会費 3,000 円

一般会員 年会費 3,600 円

後援会員 年会費 3,600 円

学連会員 年会費 無料 (別途一括納入)

単発会員 (廃止)

普及協力会員 年会費 無料

*年度末の1月から3月の間の会員登録及び該当期間に開催される公認及び承認大会に参加する為の会員登録に関しては、種別を問わず通常の半額とする。

- ③ プロ選手会員、個人選手会員、及び一般会員は、会費納入を履行していない場合は、当該年度の本協会の主催及び公認大会に出場することができない。
- ④ 全国のブロック地区を統括する団体(地区支部・全日本学連)及び都府県を統括する団体(都府県支部・関東及び関西学連、その他学連)は、本協会に加盟する事ができる。加盟金として地区支部及び全日本学連 50,000 円(1 団体/年)、都府県支部及び関東・関西学連 30,000 円(1 団体/年)を納入する。その他学連は免除とする。但し、加盟には理事会の承認を必要とする。

(会費の使途)

第5条 第4条の入会金、年会費及び加盟金、公認料は、毎事業年度における合計額の50%以下を当該年度の法人会計に使用する。

第3章 役員・常務理事・運営委員

(役員選任基準)

第6条

- 1 定款第19条が定める定数10名以上15名以内の理事の選任にあたっては、以下の基準を考慮し、構成バランスを目安とすることが望ましいものとする。
 - ① この法人の事業遂行に必要な専門的事項に造詣の深い者
5名以上7名以内
 - ② 学識経験者その他高い識見を有する者、又はスポーツ団体若しくは法人の運営管理に造詣の深い者
5名以上8名以内
- 2 理事及び監事は、本協会の社員であることを要しない。

(常務理事)

第7条 理事のうち若干名は、理事会が推薦し会長が委嘱して常務理事の任に当たる。常務理事は理事会の委任を受けて本協会の日常業務を決定執行する。

(運営委員)

第8条

- 1 常務理事を補佐するため運営委員を置く。運営委員は業務上必要とする若干名にとどめ、何れかの専門委員会に属しその任に当たる。
- 2 常務理事と運営委員とは協力して運営委員会を構成し、運営委員は常務理事を補

佐する。

- 3 各専門委員会の委員長はすべて運営委員に任じ、加えて各地区支部及び都府県支部の代表者及び団体役員並びに学連の代表者のうちから理事会の推薦する者若干名と会長が推薦する者若干名が会長の任免の下に運営委員になる。

(役員の新任・立候補)

第 9 条 理事会は、議案として総会の議に付すべき理事及び監事候補者名簿を作成する。その際立候補者は正会員 3 名のそれぞれ独立した書面による推薦状と立候補届けとを、所定の日時までに事務局長に手交又は書留郵便にて提出する。但し再任、重任者となる立候補者はこの手続きを省略できる。選挙管理委員会は正会員 3 名で組織し、その委員は理事会の推薦により会長がこれを任命する。

第4章 専門委員会

(専門委員会)

第 10 条

- 1 事業遂行に必要な専門的事項を処理するため次の専門委員会をおき、所管事項について立案・審議し、理事会の承認を得た上でその内容を実施する。
 - ① 規則公認委員会
 - ② 選手強化委員会
 - ③ 競技委員会
 - ④ 総務委員会
 - ⑤ 普及渉外委員会
 - ⑥ 国際委員会
- 2 各委員会の委員長は、理事会の推薦に基づき、会長が委嘱する。専門委員会に、副委員長をおくときは、委員長がこれを指名する。
- 3 各専門委員会の委員数は委員長を含む 20 名以内とする。
- 4 委員の任期は、定款第 26 条の規定を準用する。
- 5 会長の指示があれば顧問は各専門委員会に出席、発言することができる。

(規則公認委員会)

第 11 条 規則公認委員会は次の事項を所管する。

- ① 大会・コート・ボール・用具等の公認に関すること。
- ② 競技ルール、大会運営ルール、ポイント制度等規則に関すること。

(選手強化委員会)

第 12 条 選手強化委員会は次の事項を所管する。

- ① 海外大会日本代表選手の選考。

- ② ナショナルチームの選手強化に関する事。
- ③ ジュニアの選手強化に関する事。
- ④ マスターズの選手強化に関する事。
- ⑤ 学生の選手強化に関する事。
- ⑥ スポーツ医学に関する事。
- ⑦ コーチ制度及び育成に関する事。

(競技委員会)

第 13 条 競技委員会は次の事項を所管する。

- ① 大会運営に関する事。
- ② 審判制度及び育成に関する事。

(総務委員会)

第 14 条 総務委員会は次の事項を所管する。

- ① 会員管理に関する事。
- ② 地区組織の充実に関する事。
- ③ 財務経理に関する事。
- ④ 事務局に関する事。
- ⑤ 機関誌・広報に関する事。
- ⑥ 総合的企画運営に関する事。

(普及渉外委員会)

第 15 条 普及渉外委員会は次の事項を所管する。

- ① 大会等のスポンサー対策及びその増進に関する事。
- ② スカッシュの普及イベントに関する事。
- ③ 会員の増加のための活動に関する事。
- ④ 生涯スポーツとしてのジュニア・一般・マスターズの普及振興に関する事。
- ⑤ 環境対策に関する事。

(国際委員会)

第 16 条 国際委員会は次の事項を所管する。

- ① 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、各国協会、男女国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整に関する事。

第5章 登録

(選手登録)

第17条

- 1 本協会並びに地区支部が主催又は公認する競技会に、競技者として参加しようとする者は、原則として、日本国籍を有し別に定める規定による登録手続きを完了した選手でなければならない。
但し、日本国籍を有しない者で、ひきつづき3か月以上国内に居住する者については同様の扱いとする。
- 2 登録に関する規定及びアマチュア資格に関する規定は別に定める。

第6章 スポーツ仲裁

- 第18条 本協会のする決定に対する不服申立は、日本スポーツ仲裁機構の「スポーツ仲裁規則」に従ってなされる仲裁により解決されるものとする。

第7章 細則

- 第19条 各種細則の制定、廃止については、運営委員会にて検討の上原案を作成し、理事会の承認を得るものとする。
各種細則の内容の一部変更について、その変更が急を要し、理事会の承認を得ることが時間的に困難な場合には、事後に理事会の承認を求めるものとする。但し、理事会の事後承認が得られなかった時は、その変更は効力を有しないものとする。

第8章 会議へのオブザーバー参加

(会議へのオブザーバー参加)

- 第20条 本協会の組織の会議について、当該会議体の構成員でない正会員が傍聴を希望する場合、事前に当該会議体の議長から文書で傍聴の許可を受けた者はその会議を傍聴する事ができる。又議長から傍聴の依頼を受けた者(これら傍聴者を以下オブザーバーという)は許可の手続きなしで傍聴できる。
オブザーバーは議長の許可を受けた場合のみ発言でき、発言時間、内容等議長の指示に従う。議長から退席を求められた場合は直ちに退席しなければならない。

第9章 規則の改正

(規則の改正)

- 第21条 この規則は、本協会の理事会の議決により改正することができる。

付 則

- 1 この規則にいう全国の地区支部は次のとおりとする。
- 2 平成 23 年 4 月 1 日より地区支部は本協会とは独立した組織とし、公益社団法人日本スカッシュ協会(移行認定後)の支部名は名乗らないこととする。

日本スカッシュ協会北海道支部	北海道
日本スカッシュ協会東北支部	宮城県、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、新潟県
日本スカッシュ協会関東支部	東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、栃木県、群馬県、茨城県、山梨県
日本スカッシュ協会中部支部	愛知県、岐阜県、静岡県、三重県、長野県、富山県、石川県、福井県
日本スカッシュ協会関西支部	大阪府、兵庫県、京都府、和歌山県、奈良県、滋賀県
日本スカッシュ協会中国四国支部	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
日本スカッシュ協会九州支部	福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県

- 3 この規則は、公益法人の登記の日から施行する。

(平成 22 年 11 月 9 日理事会決議)
(平成 23 年 1 月 20 日改訂理事会決議)
(平成 24 年 6 月 9 日改訂理事会・総会決議)
(平成 26 年 1 月 10 日改訂理事会決議)
(平成 26 年 12 月 21 日改訂理事会決議)
(平成 27 年 5 月 30 日改訂理事会決議)

平成 27 年度 事業計画

公益社団法人日本スカッシュ協会

(1) スカッシュ競技の普及に関する事業

① スカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

主管：全国のスポーツクラブ及び地区支部等

日程：<スカッシュデー>平成 28 年 2 月 11 日

<スカッシュウィーク>平成 28 年 2 月 6 日～20 日 (予定)

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート等

目的：スカッシュの楽しさをより多くの方々に体験して頂きスカッシュの一層の普及を目的とする。

対象：一般の方、どなたでも。

参加予定人数：約 2,000 名

内容：スカッシュ体験会、試打会、ヒッティングパートナー、コーチング、レンタル無料デー、スカッシュ大会、3/4 ゲーム大会等

② 広報活動

イ) 広報機関誌<SQUASH>の発行 (年 2 回を予定)

Vol. 77 (夏の号) 7 月発行予定

Vol. 78 (冬の号) 平成 28 年 2 月発行予定

ロ) 協会ホームページの運営

ハ) 体育協会記者クラブ等マスコミへのプレスリリース等情報発信

③ 大会等のスポンサー対策及び増進

④ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクトを推進する

⑤ エアースカッシュを活用した全国キャラバンを実施

(2) スカッシュ競技の競技力の向上に関する事業

① スカッシュの普及と競技力向上に関する事業と「スカッシュ応援募金」活動

目的：アジア競技大会でメダルが取れる選手の育成強化と普及を目的とする。

対象：選手強化活動とコーチ養成の活動及び新たなジュニア選手の発掘育成を対象とする。

内容：

イ) ナショナル強化プロジェクトチームによる JSA 強化指定選手の競技力向上と、普及活動による選手発掘育成強化

ロ) 協会 HP や全国地区支部、協会の大会等に於けるスカッシュ応援募金活動

② JSA 公認レベル T (普及トレーナー) 及びレベル 1 (コーチ) 認定講習会と認定試験の開催・公認とワークショップの開催

主催：(公社) 日本スカッシュ協会、団体会員及び地区都道府県支部

日程：年 1～3 回開催予定

会場：未定

目的：スカッシュの正しい知識と指導法を体得し、スカッシュの一層の技術向上を

図る。

対象：レベルT—スカッシュの初心者レベルでのグループ作り等のサポートが出来る方

レベル1—一般的なクラブプレイヤーをコーチングする指導者。

参加予定人数：各回10名前後を予定

内容：レベルT—基本知識と基本ショットの正しいストローク方法、レフリー・マーカの基本知識等。

レベル1—全ての基本ショットの正しいストローク方法やフィーディング（球出し）方法、マンツーマン&グループコーチング、試合開催の組織作り、基本戦術とルール、レフリー・マーカーの知識等

③ JS A公認審判講習会と認定試験の開催・支援と公認<2級・3級・4級>

主催：（公社）日本スカッシュ協会及び全国の地区都道府県支部

日程：全国にて年10回程度開催予定

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート又は地域公共施設

目的：レフリー・マーカーの正しい知識を習得し、スカッシュ審判の一層の技術向上を目的とする。

対象：4級—一般、ジュニア等のスカッシュ経験が浅い者等。

3級—スカッシュの競技歴が1年以上と認められる者等。

2級—スカッシュの競技歴が3年以上と認められる者等。

参加予定人数：各回10～30名前後を予定

内容：講習会にて、正しいルールやレフリー・マーカーのあり方、正しいジャッジ（判断）の進め方、トラブルの対処方法、観客や試合のコントロールについて学び、筆記試験と実技（DVD）試験の点数により認定の合否が決められる。

④ ナショナルスカッシュ強化練習会及び合宿の開催

主催：（公社）日本スカッシュ協会

日程：<ナショナルトレーニング>月2回程度年間を通して実施予定

<JS A強化合宿>平成28年3月に予定

<西日本ジュニア強化合宿>10月頃に予定

会場：ヨコハマSQ-CUBE、マスカット、等

目的：アジア選手権、東アジア選手権大会、世界選手権等においてメダルを獲得する事を目標に、技術力の向上とフィジカルの強化等を目的とする。

対象：ナショナルチームの選手、強化指定選手、ジュニア選手に一般の選手もプラスした幅広いプレイヤーを対象とした中から卓越した才能を発掘し育成強化を目指す。

参加予定人数：各回6～20名前後を予定

内容：フィジカルチェック、コンディショニングゲーム、フィジカルトレーニング、基本ショット及び戦術練習、ゲーム練習、等。

(3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業

① 協会主催の競技大会 ※日程、会場等は予定

- イ) 第 26 回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会
日程：6月6日・7日
会場：さいたまスカッシュスタジアム SQ-CUBE
目的：日本のトッププレイヤーを目指す若いプレイヤーの育成強化を目的とする。
対象：23歳未満の男女
参加予定人数：約 100 名
内容：トーナメント制
- ロ) 第 29 回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会
＜ワールドジュニアサーキット(WSF)＞
＜アジアジュニアスーパーシリーズ(ASF)＞
日程：7月31日～8月2日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
目的：海外のジュニア選手の参加により、日本の選手との交流と技術向上を目的とする。
対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9の選手
参加予定人数：約 100 名
内容：トーナメント制
- ハ) スカッシュ フォー 2020 東京 ジャパン (仮称) <予定>
＜平成 27 年度スポーツ振興基金助成予定＞
日程：8月28日・29日 (30日)
会場：スパ白金
目的：世界のトップクラスプレイヤーのプレトーナメントを日本にて開催。スカッシュの普及と国際交流を図る。
対象：世界のトップクラスプレイヤー、日本代表選手
参加予定人数：男女各 4 名+日本選手 2 名
内容：男女別個人戦
- ニ) 第 21 回マスターズカーニバル
日程：10月10日 11日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
目的：マスターズの年代のスカッシュ愛好家による親睦を図り、スカッシュの試合を通じた楽しい仲間作りを目的とする。
対象：男女オーバー30、40、50、60 (初心者～ベテラン)
参加予定人数：約 200 名
内容：トーナメント及びリーグ制
- ホ) 文部科学大臣杯争奪第 44 回全日本スカッシュ選手権大会 (冠は予定)
＜平成 27 年度スポーツ振興基金助成予定＞
日程：11月20日～23日
会場：セントラルフィットネスクラブ宇都宮
目的：全国で開催された公認大会において上位の成績を収めた選手達により、日本チャンピオンの座を競う国内最高峰の大会。日本全国のトップ選手

の交流と一層の技術向上を目的とする。

対象：全国の公認大会における上位入賞者で、日本国籍を有する者、及び男女
マスターズ

参加予定人数：約 200 名

内容：トーナメント制

へ) JOC ジュニアオリンピックカップ第 20 回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会 (冠は予定)

日程：平成 28 年 3 月 25 日～27 日

会場：未定

目的：日本のジュニア選手で年代別ジュニアチャンピオンを競う大会であり、
交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9 の選手で、日本国籍を有する者

参加予定人数：約 150 名

内容：トーナメント制

② 海外大会日本代表派遣(予定)

イ) 第 18 回アジアスカッシュ選手権大会 <現地情勢不安の為派遣中止>

日程：5 月 1 日～5 日

開催地：クウェート

種目：個人戦

ロ) ペナンジュニアオープン

日程：6 月 1 日～6 日

開催地：マレーシア ペナン

種目：男女アンダー19,17,15,13,11

ハ) 東アジアスカッシュ選手権

日程：6 月 26 日～28 日

開催地：台湾

種目：男女団体戦

ニ) 世界ジュニアスカッシュ選手権大会<エジプトよりオランダに変更>

日程：7 月 25 日～8 月 4 日

開催地：オランダ/アイントホーヘン

種目：男女個人戦+女子個人戦

ホ) 香港ジュニアオープン

日程：8 月 12 日～16 日

開催地：香港

種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9

へ) 第 22 回アジアジュニアスカッシュ選手権<現地情勢不安の為派遣中止>

日程：8 月 23 日～27 日

開催地：イラン

種目：個人戦

ト) 男子世界団体スカッシュ選手権大会 <現地情勢不安の為派遣中止>

日程：12月12日～18日

開催地：クウェート

種目：男子団体戦

チ) KLジュニアオープン

日程：12月

開催地：マレーシア

リ) 第18回アジアスカッシュ団体選手権

日程：2016年未定

開催地：台湾

種目：男女団体戦

ヌ) 第23回アジアジュニア個人選手権

日程：2016年未定

開催地：マレーシア

種目：個人戦

海外派遣承認大会（予定）

イ) シンガポールジュニアオープン

日程：未定

開催地：シンガポール

ロ) USジュニアオープン

日程：未定

開催地：アメリカ

ハ) ブリティッシュジュニアオープン

日程：平成28年1月上旬

開催地：イギリス

ニ) スコティッシュジュニアオープン

日程：平成28年1月上旬

開催地：スコットランド

③ 国際大会の日本開催に向けての資金及び情報の収集

目的：ジャパンオープンスカッシュ選手権大会等、海外選手と対戦する機会を作る事により日本選手の技術の向上を図る。又、国際大会を開催する事により間近で海外トップ選手のプレイを観戦する機会を作り、より多くの人々にスカッシュへの関心を高めてもらい一層の普及を図る。

計画：2020年東京オリンピック競技入りアピールを含めて、第28回ジャパ

ンオープンアスカッシュ選手権大会等の日本開催を実施予定。

(4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

- ① アジア競技大会に向けてのロビー活動及び選手強化活動
目的：2018年のアジア競技大会では、より多くの日本人選手が出場できるように努力し、メダル獲得に向けて選手強化を一層充実させる。
対象：男女ナショナルチーム
種目：男女シングル戦、団体戦
内容：選手強化の為に合宿を集中して行う。
- ② オリンピック競技大会での正式競技入り実現の為に推進活動
目的：スカッシュの普及発展の為に、オリンピックへの正式競技入りを積極的に推進していく。
内容：WSF（世界スカッシュ連盟）との連携により、IOC（国際オリンピック委員会）並びに2020年東京オリンピック組織委員会へ追加正種目入りに向けての要望運動を展開する。
- ③ ドーピング検査及びドーピング防止啓蒙活動
＜平成27年スポーツ振興くじ助成申請＞
内容：（公財）日本ドーピング機構に加盟して、競技会検査及びドーピング防止の為に啓蒙活動を積極的に行う。大会会場にて展示説明コーナーを設置。
- ④ 会員募集事業と公認事業制度の運用
内容：*個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は（株）アプロード運用の「スポーツエントリー」を利用して利便性を図る。但し、平成23年度より大会参加に関しての「スポーツエントリー」の利用は、主催者の判断に委ねている。
*世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行いスカッシュ競技の安全性や統一を図る。
*公認大会の運用（要項、ドロー、結果の確認及び公認）やランキング等の発表を行い、公認大会の全国統一とレベルアップを図る。
平成26年度より、試験的にジュニアランキングも施行している。
- ⑤ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、男女国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整
目的：海外対策委員会を中心に海外の情報収集及び国内情報の発信及び海外との協力体制で積極的な活動を行う。
- ⑥ 全日本学生連盟との連携、強化
目的：前年度に続いて学生連盟の所属選手も個人登録とし、協会機関誌を個別に発送する事により情報を一層密に伝達する。又、大会等における協力体制を強化する。
- ⑦ 「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」建設に向

けた資金及び情報の収集

目的：スカッシュ人口増大の為には、協会保有のスカッシュコートを建設しての普及活動が不可欠。又、集中的な選手強化の為にもスカッシュコートを含むトレーニングセンターの建設が必要。国や自治体の協力を得て「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」の建設を目指し、資金と情報の収集に努力する。

計画：新国立競技場は規模縮小の為大変厳しい状況ではあるが、引き続き周辺施設、他施設へのスカッシュコート設置を働きかける努力をする。

⑧ 公益法人としての活動の強化

目的：公益社団法人としての適正な活動を行い、スカッシュの一層の普及振興に努力する。

収支予算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[20,000]	[20,000]	[0]
基本財産受取利息	20,000	20,000	0
受取会費	[15,847,300]	[14,380,450]	[1,466,850]
正会員受取会費	442,800	442,800	0
賛助会員個人受取会費	9,269,500	7,772,650	1,496,850
賛助会員団体受取会費	3,390,000	3,390,000	0
加盟金	610,000	640,000	△ 30,000
公認料	2,135,000	2,135,000	0
事業収益	[40,311,300]	[20,311,920]	[19,999,380]
参加費	8,097,900	6,701,920	1,395,980
広告費	23,242,000	5,310,000	17,932,000
その他	5,637,400	3,000,000	2,637,400
委託補助金収入	2,534,000	4,500,000	△ 1,966,000
雑収入	800,000	800,000	0
受取補助金等	[37,988,000]	[13,480,000]	[24,508,000]
民間補助金収入	2,200,000	2,700,000	△ 500,000
国庫等助成金	35,788,000	10,780,000	25,008,000
受取寄付金	[599,573]	[2,472,000]	[△ 1,872,427]
受取寄付金	300,000	0	300,000
募金収益	299,573	2,472,000	△ 2,172,427
雑収益	[5,506]	[5,506]	[0]
受取利息	5,506	5,506	0
経常収益計	94,771,679	50,669,876	44,101,803
(2) 経常費用			
事業費	[79,584,679]	[35,932,876]	[43,651,803]
コート・フット	33,227,080	1,766,600	31,460,480
パンフレット	8,153,936	4,186,165	3,967,771
参加賞	1,719,705	873,750	845,955
トロフィー・メダル	521,989	458,331	63,658
保険代	260,940	63,800	197,140
交通費	2,660,926	1,835,958	824,968
宿泊費	9,110,838	985,522	8,125,316
郵送費	313,268	142,375	170,893
雑費	6,399,837	956,543	5,443,294
渡国航滞費	3,419,290	2,902,420	516,870
国内滞在費	1,042,000	6,352,000	△ 5,310,000
国内旅費	30,000	27,500	2,500
謝礼金	5,317,000	3,397,440	1,919,560
借損料	540,000	1,939,040	△ 1,399,040
消耗品費	814,145	1,236,616	△ 422,471
通信運搬費	180,709	0	180,709
雑役務費	3,907,433	5,206,256	△ 1,298,823
対象外経費	0	270,000	△ 270,000
その他	65,583	1,332,560	△ 1,266,977
給付金支出	1,200,000	1,000,000	200,000
雑支出	700,000	1,000,000	△ 300,000
管理費	[14,587,000]	[14,437,000]	[150,000]
給与	8,900,000	8,400,000	500,000
旅費交通費	500,000	500,000	0

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
通 信 ・ 運 搬 費	662,000	662,000	0
会 議 費	50,000	50,000	0
消 耗 什 器 備 品 費	680,000	680,000	0
印 刷 製 本 費	100,000	100,000	0
光 熱 水 料 費	220,000	220,000	0
賃 借 料 費	1,320,000	1,320,000	0
社 会 保 険 料	700,000	1,000,000	△ 300,000
負 担 金 支 出	455,000	455,000	0
公 認 会 計 士 他 費 用	150,000	200,000	△ 50,000
公 益 法 人 関 連 費 用	350,000	350,000	0
登 記 費 用	200,000	200,000	0
雑 費	300,000	300,000	0
経常費用計	94,171,679	50,369,876	43,801,803
評価損益等調整前当期経常増減額	600,000	300,000	300,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	600,000	300,000	300,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	600,000	300,000	300,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	600,000	300,000	300,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	600,000	300,000	300,000

収支予算書内訳表

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：円)

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[0]	[0]	[20,000]	[20,000]
基本財産受取利息	0	0	20,000	20,000
受取会費	[7,923,650]	[0]	[7,923,650]	[15,847,300]
正会員受取会費	221,400	0	221,400	442,800
賛助会員個人受取会費	4,634,750	0	4,634,750	9,269,500
賛助会員団体受取会費	1,695,000	0	1,695,000	3,390,000
加盟料	305,000	0	305,000	610,000
公認料	1,067,500	0	1,067,500	2,135,000
事業収益	[40,311,300]	[0]	[0]	[40,311,300]
参加費	8,097,900	0	0	8,097,900
広告費	23,242,000	0	0	23,242,000
その他	5,637,400	0	0	5,637,400
委託補助金収入	2,534,000	0	0	2,534,000
雑収入	800,000	0	0	800,000
受取補助金等	[37,988,000]	[0]	[0]	[37,988,000]
民間補助金収入	2,200,000	0	0	2,200,000
国庫等補助金	35,788,000	0	0	35,788,000
受取寄付金	[599,573]	[0]	[0]	[599,573]
受取寄付金	300,000	0	0	300,000
募金収益	299,573	0	0	299,573
雑収益	[0]	[0]	[5,506]	[5,506]
受取利息	0	0	5,506	5,506
経常収益計	86,822,523	0	7,949,156	94,771,679
(2) 経常費用				
事業費	[79,584,679]	[0]	[0]	[79,584,679]
コーポレート	33,227,080	0	0	33,227,080
パトロール	8,153,936	0	0	8,153,936
参加トロフィー	1,719,705	0	0	1,719,705
保険	521,989	0	0	521,989
交通	260,940	0	0	260,940
宿泊	2,660,926	0	0	2,660,926
郵便	9,110,838	0	0	9,110,838
雑	313,268	0	0	313,268
渡航	6,399,837	0	0	6,399,837
国外滞	3,419,290	0	0	3,419,290
国内旅	1,042,000	0	0	1,042,000
謝金	30,000	0	0	30,000
借損	5,317,000	0	0	5,317,000
消耗品	540,000	0	0	540,000
通信	814,145	0	0	814,145
雑役務	180,709	0	0	180,709
その他	3,907,433	0	0	3,907,433
給付金支出	65,583	0	0	65,583
雑支出	1,200,000	0	0	1,200,000
雑支出	700,000	0	0	700,000
管理費	[10,601,000]	[0]	[3,986,000]	[14,587,000]
給旅	7,120,000	0	1,780,000	8,900,000
通信	400,000	0	100,000	500,000
会議	400,000	0	262,000	662,000
消耗什器	25,000	0	25,000	50,000
印刷	544,000	0	136,000	680,000
光熱	80,000	0	20,000	100,000
賃借	176,000	0	44,000	220,000
社保	1,056,000	0	264,000	1,320,000
負担金	560,000	0	140,000	700,000
公認会計士	0	0	455,000	455,000
公益法人	0	0	150,000	150,000
登記	0	0	350,000	350,000
費用	0	0	200,000	200,000

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
雑 費	240,000	0	60,000	300,000
経常費用計	90,185,679	0	3,986,000	94,171,679
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,363,156	0	3,963,156	600,000
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,363,156	0	3,963,156	600,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,363,156	0	3,963,156	600,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	△ 3,363,156	0	3,963,156	600,000
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 3,363,156	0	3,963,156	600,000

収支予算書(収支)

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[20,000]	[20,000]	[0]
基本財産利息収入	20,000	20,000	0
会費収入	[15,847,300]	[14,380,450]	[1,466,850]
正会員会費収入	442,800	442,800	0
賛助会員個人会費	9,269,500	7,772,650	1,496,850
賛助会員団体会費	3,390,000	3,390,000	0
加盟金	610,000	640,000	△ 30,000
公認料	2,135,000	2,135,000	0
事業収入	[40,311,300]	[20,311,920]	[19,999,380]
参加費	8,097,900	6,701,920	1,395,980
広告費	23,242,000	5,310,000	17,932,000
その他	5,637,400	3,000,000	2,637,400
委託補助金収入	2,534,000	4,500,000	△ 1,966,000
雑収入	800,000	800,000	0
補助金等収入	[37,988,000]	[13,480,000]	[24,508,000]
民間補助金収入	2,200,000	2,700,000	△ 500,000
国庫等助成金	35,788,000	10,780,000	25,008,000
寄付金収入	[599,573]	[2,472,000]	[△ 1,872,427]
寄付金収入	300,000	0	300,000
募金収入	299,573	2,472,000	△ 2,172,427
雑収入	[5,506]	[5,506]	[0]
受取利息	5,506	5,506	0
事業活動収入計	94,771,679	50,669,876	44,101,803
2. 事業活動支出			
事業費	[79,584,679]	[35,932,876]	[43,651,803]
コート・フレック・メダル	33,227,080	1,766,600	31,460,480
パンフレット	8,153,936	4,186,165	3,967,771
参加賞	1,719,705	873,750	845,955
トロフィー・メダル	521,989	458,331	63,658
保険代	260,940	63,800	197,140
交通費	2,660,926	1,835,958	824,968
宿泊費	9,110,838	985,522	8,125,316
郵送費	313,268	142,375	170,893
雑費	6,399,837	956,543	5,443,294
渡航費	3,419,290	2,902,420	516,870
国外滞在費	1,042,000	6,352,000	△ 5,310,000
国内旅費	30,000	27,500	2,500
謝礼金	5,317,000	3,397,440	1,919,560
借損料	540,000	1,939,040	△ 1,399,040
消耗品費	814,145	1,236,616	△ 422,471
通信運搬費	180,709	0	180,709
雑役務費	3,907,433	5,206,256	△ 1,298,823
対象外経費	0	270,000	△ 270,000
その他	65,583	1,332,560	△ 1,266,977
給付金支出	1,200,000	1,000,000	200,000
雑支	700,000	1,000,000	△ 300,000
管 理 費	[14,587,000]	[14,437,000]	[150,000]
給与	8,900,000	8,400,000	500,000
旅費	500,000	500,000	0
通信・運搬費	662,000	662,000	0

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
会 議 費	50,000	50,000	0
消 耗 什 器 備 品 費	680,000	680,000	0
印 刷 製 本 費	100,000	100,000	0
光 熱 水 料 費	220,000	220,000	0
賃 借 料	1,320,000	1,320,000	0
社 会 保 険 料	700,000	1,000,000	△ 300,000
負 担 金 支 出	455,000	455,000	0
公 認 会 計 士 他 費 用	150,000	200,000	△ 50,000
公 益 法 人 関 連 費 用	350,000	350,000	0
登 記 費 用	200,000	200,000	0
雑 費	300,000	300,000	0
事業活動支出計	94,171,679	50,369,876	43,801,803
事業活動収支差額	600,000	300,000	300,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特 定 預 金 支 出	[600,000]	[300,000]	[300,000]
退 職 給 与 引 当 預 金 支 出	100,000	0	100,000
大 会 開 催 引 当 預 金 支 出	300,000	200,000	100,000
ト レ セ ン 建 設 引 当 預 金 支 出	200,000	100,000	100,000
投資活動支出計	600,000	300,000	300,000
投資活動収支差額	△ 600,000	△ 300,000	△ 300,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

収支予算書内訳表(収支)
平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位:円)

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[0]	[0]	[20,000]	[20,000]
基本財産利息収入	0	0	20,000	20,000
会費収入	[7,923,650]	[0]	[7,923,650]	[15,847,300]
正会員会費収入	221,400	0	221,400	442,800
賛助会員個人会費収入	4,634,750	0	4,634,750	9,269,500
賛助会員団体会費収入	1,695,000	0	1,695,000	3,390,000
加盟金	305,000	0	305,000	610,000
公認料	1,067,500	0	1,067,500	2,135,000
事業収入	[40,311,300]	[0]	[0]	[40,311,300]
参加費	8,097,900	0	0	8,097,900
広告費	23,242,000	0	0	23,242,000
その他	5,637,400	0	0	5,637,400
委託補助金収入	2,534,000	0	0	2,534,000
雑収入	800,000	0	0	800,000
補助金等収入	[37,988,000]	[0]	[0]	[37,988,000]
民間補助金収入	2,200,000	0	0	2,200,000
国庫等助成金	35,788,000	0	0	35,788,000
寄付金収入	[599,573]	[0]	[0]	[599,573]
寄付金収入	300,000	0	0	300,000
募金収入	299,573	0	0	299,573
雑収入	[0]	[0]	[5,506]	[5,506]
受取利息	0	0	5,506	5,506
事業活動収入計	86,822,523	0	7,949,156	94,771,679
2. 事業活動支出				
事業費	[79,584,679]	[0]	[0]	[79,584,679]
コーポレート	33,227,080	0	0	33,227,080
パトロール	8,153,936	0	0	8,153,936
参加賞	1,719,705	0	0	1,719,705
トロフィー・メダル	521,989	0	0	521,989
保険代	260,940	0	0	260,940
交通費	2,660,926	0	0	2,660,926
宿泊費	9,110,838	0	0	9,110,838
郵送費	313,268	0	0	313,268
雑費	6,399,837	0	0	6,399,837
渡国滞在外滞在費	3,419,290	0	0	3,419,290
国内旅費	1,042,000	0	0	1,042,000
謝礼金	30,000	0	0	30,000
借損料	5,317,000	0	0	5,317,000
消耗品費	540,000	0	0	540,000
通信運搬費	814,145	0	0	814,145
通役務費	180,709	0	0	180,709
その他	3,907,433	0	0	3,907,433
給付金支出	65,583	0	0	65,583
雑支出	1,200,000	0	0	1,200,000
管 理 費	700,000	0	0	700,000
給旅費	[10,601,000]	[0]	[3,986,000]	[14,587,000]
交通費	7,120,000	0	1,780,000	8,900,000
通信運搬費	400,000	0	100,000	500,000
会議費	400,000	0	262,000	662,000
消耗什器備品費	25,000	0	25,000	50,000
印刷製本費	544,000	0	136,000	680,000
光熱水料	80,000	0	20,000	100,000
賃貸借料	176,000	0	44,000	220,000
社 会 保 険 料	1,056,000	0	264,000	1,320,000
負担金支出	560,000	0	140,000	700,000
公認会計士他費用	0	0	455,000	455,000
公益法人関連費用	0	0	150,000	150,000
登記費	0	0	350,000	350,000
雑費	0	0	200,000	200,000
雑費	240,000	0	60,000	300,000

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
事業活動支出計	90,185,679	0	3,986,000	94,171,679
事業活動収支差額	△ 3,363,156	0	3,963,156	600,000
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
特 定 預 金 支 出	[500,000]	[0]	[100,000]	[600,000]
退 職 給 与 引 当 預 金 支 出	0	0	100,000	100,000
大 会 開 催 引 当 預 金 支 出	300,000	0	0	300,000
ト レ セ ン 建 設 引 当 預 金 支 出	200,000	0	0	200,000
投資活動支出計	500,000	0	100,000	600,000
投資活動収支差額	△ 500,000	0	△ 100,000	△ 600,000
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	△ 3,863,156	0	3,863,156	0
前期繰越収支差額	0	0	0	0
次期繰越収支差額	△ 3,863,156	0	3,863,156	0

平成27年度公益社団法人日本スカッシュ協会役員

役職名	再新任	氏名	職業・委員会・等	任期	常勤・非常勤
理事(会長)	再任	笠原 一也	元国立スポーツ科学センター長 NPO法人 日本オリンピック・アカデミー/会長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事) (事務局長)	再任	梶田 幸子	総務委員長 (公社)日本スカッシュ協会/事務局長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	常勤
理事(常務理事)	再任	潮木 仁	選手強化委員長 (株)スポーツステーション・ジン/ 代表取締役社長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	宮城島 真知子	普及渉外委員長 (有)スカッシュマネジメント/代表取締役社長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	日向 孝知	規則公認委員長/広報委員長 (株)システナ/フレームワークデザイン本部	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	大根田 芳浩	競技委員長・地区対策委員長 大根田電機(株)/代表取締役社長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	渡邊 祥広	T&Wカンパニー(株)/代表取締役	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	川原 貴	国立スポーツ科学センター長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	玉利 齊	(公財)日本健康スポーツ連盟/理事長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	三枝 佳紀	セントラルスポーツ(株)/レジヤ事業部長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	師岡 文男	国際スポーツ団体総連合前理事/国際ワールドゲームズ協会理事/上智大学教授	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事	新任	小見山 幸治	参議院議員	平成27年6月14日～ 平成29年定時総会終結日	非常勤
監事	再任	友清 敏和	元持田シーメンスメディカルシステム(株)/ 取締役	平成26年6月30日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
監事	再任	山岸 和彦	あさひ法律事務所/弁護士	平成26年6月30日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤

現在、役員に報酬・退職金等は支給しておらず、今後も支給する予定はない。

平成27年度公益社団法人日本スカッシュ協会 名誉総裁・名誉会長・顧問

役 職	再新任	氏 名	職業・地区等
名誉総裁		高円宮妃殿下	
名誉会長	再任	猪谷 千春	元国際オリンピック委員会副会長/ NPO法人日本オリンピックアカデミー
顧 問	再任	藤ヶ崎 訥美	元(株)三声/代表取締役社長
顧 問	再任	臼井 日出男	衆議院議員/元防衛庁長官・元法務大臣
顧 問	再任	岩崎 晃	元(株)日本テレビワーク24専務取締役
顧 問	再任	齋藤 敏一	(株)ルネサンス 取締役会長
顧 問	再任	齋藤 洋介	ワールド通商(株) 会長
顧 問	再任	赤木 恭平	(公財)全日本ボウリング協会 名誉会長
顧 問	再任	鈴木 恒夫	元衆議院議員/元文部科学大臣
顧 問	再任	今村 正史	元コーンズドッドウェル(株)監査役
顧 問	再任	グレゴリー・クラーク	多摩大学名誉学長

平成27年度公益社団法人日本スカッシュ協会 運営委員

役 職	再新任	氏 名	職業・地区等
運営委員	再任	足立 美由紀	関西支部長
運営委員	再任	吉田 尚弘	九州支部
運営委員	再任	柴田 亮介	東北支部
運営委員	再任	芦谷 誠治	中国四国支部
運営委員	再任	國井 正道	中部支部
運営委員	再任	土田 博史	千葉県支部
運営委員	再任	丹埜 倫	会長推薦
運営委員	再任	小幡 博	北海道支部
運営委員	新任	全日本学生連盟委員長	全日本学生連盟委員長

平成27年度正会員名簿

27年度(33名)

氏名
小幡 博
鈴木 康之
柴田 亮介
熊田 康宏
大根田 芳浩
笠原 一也
潮木 仁
濱野 昭彦
日向 孝知
古川 泰久
松原 浩二郎
梶田 幸子
土田 博史
田中 新吾
丹埜 倫
宮城島 眞知子
高橋 徹

氏名
町田 信行
岡田 真弥
吉田 隆二
國井 正道
松岡 克夫
竹内 敬二
足立 美由紀
大森 紀人
高木 あきみ
松下 泰和
杉本 和子
二瓶 雅美
武本 清孝
芦谷 誠治
吉田 尚弘
喜渡 正

平成27年度委員会・大会担当者

<委員会>

- 1) 規則公認委員会 委員長/日向
 <公認> 委員長/日向
- 2) 選手強化委員会 委員長/潮木
 委員/山崎 (シニア委員長) 佐野 (ジュニア委員長) 足立 土田小川
 <ナショナル強化プロジェクト> ナショナルコーチ/佐野
 アシスタントコーチ/山崎 (シニア担当) 足立 (ジュニア担当)
 強化スタッフ/土田 小川松本 サポートスタッフ/郡司 芦谷 横田 前川
 <コーチ> 委員長/土田 委員/足立 潮木 佐野
 <学連> 委員長/松原
 <医療サポート> 副委員長/酒井 委員/川原 浅野(雅)、浅野(千)、森田
- 3) 競技委員会 委員長/大根田
 <大会管理> 委員長/潮木 委員/河原 日端
 <レフリー> 委員長/大根田 委員/潮木 土田 日向 小幡柴田 千葉 浅野 小川 渡邊小島 矢野 吉田
 <マスターズ> 委員長/小幡 委員/齋藤
- 4) 総務委員会 委員長/梶田
 <地区対策> 委員長/大根田 委員/全国地区支部委員
 <広報> 委員長/日向 委員/宮城島 神谷 川原
 <財務> 委員長/友清 委員/梶田 吉羽 神谷
- 5) 普及渉外委員会 委員長/宮城島 委員/潮木 梶田 日向 大根田
 <環境対策> J S Aエコプロジェクト 委員長/宮城島
- 6) 国際委員会 委員長/足立 委員/丹埜友清 大島 神谷

<大会・イベント>

- A) 全日本アンダー23実行委員長/潮木 副実行委員長/ 松原 (学連)
- B) 全日本ジュニア 実行委員長/小川 副実行委員長/土田 松原(学連) 島田
 委員/足立 宮城島 佐野 渡邊 ジュニア委員
- C) マスターズカーニバル 実行委員長/齋藤 委員/実行委員会
- D) 全日本選手権 実行委員長/潮木 副委員/大根田 宮城島
 委員/日向 小川 梶田 吉羽
- E) ジャパンジュニアオープン 実行委員長/佐野 副実行委員長/足立 小川
 松原 (学連) 島田 委員/土田 宮城島 神谷 ジュニア委員
- F) スカッシュデー・スカッシュウィーク 実行委員長/宮城島 委員/全国地区支部員
- G) エア・スカッシュ 実行委員長/宮城島 委員/全国地区支部員
- H) スカッシュ フォー2020 (仮称) 実行委員長/足立
 委員/潮木 大根田 宮城島 日向 梶田 神谷 吉羽 他

<事務局> 事務局長/梶田 事務局員/吉羽 神谷

公益社団法人日本スカッシュ協会組織図

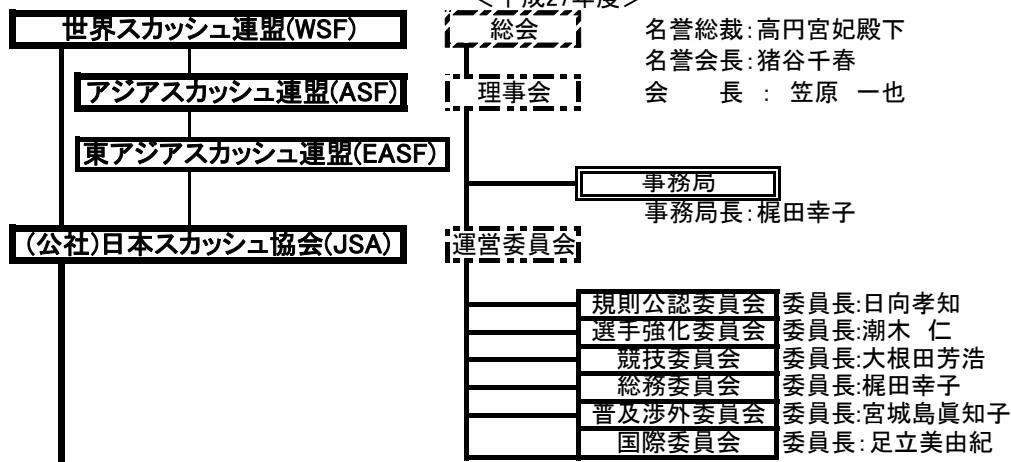
TEL:03-5256-0024 http://www.squash-japan.org
 FAX:03-5256-0025 E-mail:squash@japan.email.ne.jp

代表理事： 笠原 一也☆ 顧問(アドバイザー) 臼井日出男 赤木恭平
 常務理事： 潮木 仁☆ 岩崎 晃 鈴木恒夫
 梶田幸子☆ 齋藤敏一 藤ヶ崎訥美
 宮城島眞智子☆ 齋藤洋介 グレゴリー・クラーク
 日向孝知☆ 今村正史
 大根田芳浩☆

理事： 川原 貴 足立美由紀☆
 玉利 齊 吉田尚弘☆
 三枝 佳紀 柴田亮介☆
 師岡 文雄 芦谷誠治☆
 渡邊 祥広 國井正道☆
 小見山 幸治 土田博史☆
 松原浩二郎☆

監事： 友清敏和 丹埜 倫☆
 山岸和彦 小幡 博☆

運営委員：
 足立美由紀☆
 吉田尚弘☆
 柴田亮介☆
 芦谷誠治☆
 國井正道☆
 土田博史☆
 松原浩二郎☆
 丹埜 倫☆
 小幡 博☆



☆正会員 *普及会員

- | | | | | | |
|------------------------|------|------------|---------------------------|----------------------|-----------|
| 北海道支部 代表: 小幡 博☆ | 北海道 | 代表: 小幡 博 | 関西支部 代表: 足立美由紀☆ | 大阪府 | 代表: 竹内敬二☆ |
| 東北支部 代表: 柴田亮介☆ | 青森県 | 代表: 石田好光* | 兵庫県 | 代表: 大森紀人☆ | |
| | 秋田県 | 代表: 加賀美久子* | 京都府 | 代表: 高木あきみ☆ | |
| | 山形県 | 代表: 鈴木康之☆ | 和歌山県 | 代表: 松下泰和☆ | |
| | 岩手県 | 代表: 佐藤龍史* | 滋賀県 | 代表: 杉本和子☆ | |
| | 宮城県 | 代表: 柴田亮介 | 奈良県 | 代表: 二瓶雅美☆ | |
| | 福島県 | 代表: 熊田 康宏☆ | 中国四国支部 代表: 芦谷誠治☆ | 広島県 | 代表: 武本清孝☆ |
| | 新潟県 | 代表: 大根田芳浩 | 岡山県 | 代表: 長行美保* | |
| 関東支部 代表: 濱野昭彦☆ | 東京都 | 代表: 古川泰久☆ | 山口県 | 代表: 尾瀧俊雄* | |
| | 千葉県 | 代表: 田中新吾☆ | 香川県 | 代表: 藪内誠子* | |
| | 神奈川県 | 代表: 高橋 徹☆ | 愛媛県 | 代表: 山本大介* | |
| | 埼玉県 | 代表: 町田信行☆ | 鳥取県 | 代表: 渡部訓久* | |
| | 栃木県 | 代表: 岡田真弥☆ | 島根県 | 代表: 宅野政行* | |
| | 群馬県 | 代表: 富岡大地* | 徳島県 | 代表: 井澤義治* | |
| | 茨城県 | 代表: 川崎孝俊☆ | 高知県 | 代表: 千頭誉和* | |
| | 山梨県 | 代表: 河野時子* | 九州支部 代表: 吉田尚弘☆ | 福岡県 | 代表: 平野直子* |
| 中部支部 代表: 國井正道☆ | 愛知県 | 代表: 安藤清明* | 大分県 | 代表: 喜渡 正☆ | |
| | 岐阜県 | 代表: 國井豊晃* | 長崎県 | 代表: 岡 優鷹* | |
| | 静岡県 | 代表: 松岡克夫☆ | 佐賀県 | 代表: 松原理恵* | |
| | 長野県 | 代表: 酒井光一* | 熊本県 | 代表: 宇藤千鶴* | |
| | 三重県 | 代表: 三輪 明* | 鹿児島県 | 代表: 道下和子* | |
| | 富山県 | 代表: 池田祐昇* | 宮崎県 | 代表: 小西康志* | |
| | 石川県 | 代表: 藤村 馨* | 沖縄県 | 代表: 吉田尚弘 | |
| | 福井県 | 代表: 安間保行* | 全日本学生連盟 代表: 松原浩二郎☆ | 北海道・東北・関東・関西・中国四国・九州 | |

「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について（公表）

平成 27 年 6 月 30 日

公益社団法人日本スカッシュ協会

当法人は、国家公務員法等の規定に関し、国家公務員であった者が法人の役員として再就職する場合に、事前に政府に届出をおこなうことが必要な「国と特に密接な関係がある法人」に該当しませんので、その旨公表いたします。

[本件連絡先]

電 話

03-5256-0024

FAX

03-5256-0025

電子メール

squash@japan.email.ne.jp

(参考) 国家公務員法等の規定

- ・ 国家公務員法 (昭和 22 年法律第 120 号) 第 106 条の 24 第 1 項第 4 号
- ・ 独立行政法人通則法 (平成 11 年法律第 103 号) 第 54 条の 2 第 1 項において準用する国家公務員法第 106 条の 24 第 1 項第 4 号
- ・ 職員の退職管理に関する政令 (平成 20 年政令第 389 号) 第 32 条
- ・ 特定独立行政法人の役員の退職管理に関する政令 (平成 20 年政令第 390 号) 第 18 条
- ・ 職員の退職管理に関する内閣官房令 (平成 20 年内閣府令第 83 号) 第 9 条
- ・ 特定独立行政法人の役員の退職管理に関する内閣官房令(平成 20 年内閣府令第 84 号)第 8 条